

柳之御所遺跡出土の重要文化財指定品の修復(令和2年度)

《修理前》

柳之御所遺跡出土の重要文化財について、せい弱な指定品の保管展示に益するため保存修理を行っています。

令和2年度は支持台を含めて9点の修復を行いました。

白磁碗 修理内容:完形復元



底部～口縁部にかけて完形復元することで、安定した状態で保管できるように修復を行いました。

軒丸瓦 修理内容:接合補強



せい弱な接合状態であり、補強を行うことで保管展示に耐えうるように修復を行いました。

渥美甕 修理内容:シリコン製支持台の作成



大型の甕の破片に負荷をかけることなく、安定させて保管展示するために支持台を作成しました。

《修復の作業手順》

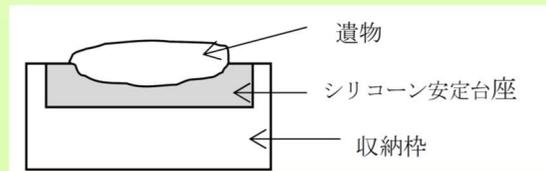
1. X線デジタル撮影を行い、現状の記録を行います。
2. 仮接合してある破片はすべて解体し、接着剤・石膏を慎重に除去していきます。
3. 着色は変色しにくいアクリル絵の具を使用し、薄い色を塗り重ねて色調・材質感を再現します。現物と充填部分の違いが分かるように着色しています。



白磁碗:残存部分の釉薬の幅と併せて、復元箇所を調整しました。またろくろ目を追加で表現しています。



軒丸瓦:表面は実物よりもワントーン下げ彩色を行う。側面復元箇所の彩色は、周辺に合わせてなじませる。



支持台:シート状のシリコン安定台座を作成する際、遺物との密着性を上げるため、養生の上遺物の型取りを行い成形します。

《修理完了》



白磁碗:高台の際部分を彫り込み、シャープにして現物と合わせました。



軒丸瓦:接合補強部分の瓦表面はトーンを落として現物との違いが分かるようにしました。



支持台(正面)

資料保管状況



展示時の状況(背面)

展示時の状況(側面)

修復作業を終えた資料は、適切な環境で保管しながら、新しく開館するガイダンス施設で公開・活用していきたいと考えています。